

## ▶ 課題解決型まち活性化プロジェクト

提案者 ▶ 京浜急行電鉄株式会社

研究者 ▶ 国際総合科学部 国際都市学系 教授 鈴木伸治 特別契約教授 国吉直行

### 地域課題

金沢区は横浜市の中でも最も人口が減少しており、京急沿線の中でも高齢化が進むエリアである。そのため若年層や新規入居者の減少により、将来的な地域の衰退が予想されている。特に、大規模分譲をした戸建住宅地がある能見台・富岡地区においては今後課題が顕在化することが予想されている。また、区心部においては、集合住宅の建て替えなどを想定し、新たな時代の土地利用の検討が必要とされている。

### 課題解決の方法

以上のような課題を解決するため、以下2点を中心に検討を行う。

#### 1. 戸建て住宅地の再生

大規模分譲をした戸建住宅地である能見台・富岡地区において、地域住民の課題・ニーズ把握のための調査を実施し、地域住民の利便性向上となるような新たな機能・サービスのアイデアを検討する。

#### 2. 区心部の将来像検討

金沢区役所を核とする金沢区心部におけるふさわしい土地利用と新たな交流拠点を検討する。

### 実施内容

研究の推進のため、横浜市都市整備局・金沢区役所・京浜急行電鉄株式会社による研究会に参加した。

#### 1. 戸建て住宅地の再生

京急と共同で、金沢区民および、かつて金沢区に居住した経験を持つものを対象としたアンケートを実施した。アンケート分析については、主に自由回答項目のテキストマイニング手法による分析などを担当した。

#### 2. 区心部の将来像検討

検討にむけての基礎的な調査を実施するとともに、まちづくりコースの2年生実習課題「Kanazawa2050」として、区心部の将来像の検討を取り上げ、提案を募った、この学生が行なった課題の成果については、今後の検討の基礎資料の一つとする予定である。

### 成果・効果

平成29年度は、提案者である京急による金沢区内の調査実施が当初予定からずれ込んだこともあり、アンケートの実施および、その分析が主な作業となり、実際に地域に入っでのワークショップの実施などを行うことはできなかったが、平成30年度以降は、今年度の成果を生かして、地域社会への提案などを実施する予定である。

### 今後の課題と展開

能見台を中心とする戸建て住宅地の再生に関しては、横浜市および京急との間の方針に関する合意形成、また、地域住民へのアプローチの仕方が課題となる。区心部の将来ビジョンについては、周辺地権者の意向なども踏まえた提案の作成が課題である。



学生による提案1



学生による提案2



表彰された提案グループ1



表彰された提案グループ2